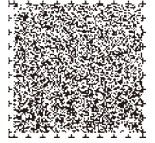




令和5年3月1日
第125号
発行 福岡視力障害センター
〒819-0165 福岡市西区今津 4820-1
(電話) 092 (806) 1361
(FAX) 092 (806) 1365
ホームページ
<http://www.rehab.go.jp/fukuoka/>
印刷 社会福祉法人 福岡コロニー



卒業生に贈る言葉

所長 丸山 家太郎

卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。

卒業生の皆さんは、センター入所期間中、新型コロナウイルスの影響による行動制限や自粛を余儀なくされ、自分の描いたセンター生活を送ることができなかったと思います。こうした状況下でも、皆さんのたゆまぬ努力の結果が、この晴れた日を迎えられるものと、心から敬意を表します。

これから、皆さんは、センターで学んだ知識・技能を基に社会に旅立たれます。

センターで学んだ知識・技能は、基本的なものであり、これから経験することが、本当に自分の血となり肉となります。

そのため、皆さんには、「何でも経験してやろう。」という気持ちで、今後の人生を送っていただきたいと思います。

その際、苦しいこと、つらいことがあるかもしれませんが、今までに皆さんが経験されたことに比べればたいしたことではないはずです。今後の経験や努力が、これからの皆さんを成長させると信じています。

これからも、いままでと、変わらぬ姿勢で努力を続け、もっと成長して立派な人になることを願っています。

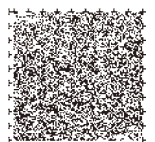
皆さんの今後の輝かしい活躍を期待しています。

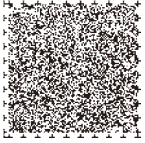
同窓会長 楠原 宏和

3年前センターに入学され、コロナ感染症に留意しながら国家資格取得のため日々の学習や、自立訓練など大変なご努力をされたことと思います。5名の皆さん、ご卒業おめでとうございます。

センターで学んだノウハウを基礎に、それぞれ

の分野でトライアンドエラーを繰り返しながらも、一層の学識を高め、技術を磨いていかれることでしょう。今後社会に出ても、障害を理由に甘えることなく一歩ずつ前進し、夢をかなえてください。皆さんの今後のご活躍を会員一同祈念致します。





自治会代表

卒業おめでとうございます。そして国家試験お疲れさまでした。

4月からは、新たな道をそれぞれ歩まれると思いますが、体調には気をつけて、頑張ってください。時間が出来たら、また飲みに行きましょう。

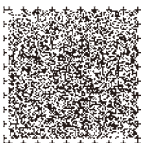
教務課担当 水元 ひろみ

ご卒業おめでとうございます。今年もまだコロナの不安が残る中、本当によく頑張り切りましたね。皆さんの日々の頑張りにたくさん元気をいただきました。ありがとうございます。皆さんの理療の勉強は卒業してからが本番ですね。皆さんの今後のご健勝と更なる発展を心よりお祈り申し上げます。

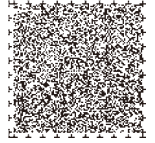


支援課担当 梶原 清隆

ご卒業おめでとうございます。3年間担当をさせていただきありがとうございました。少数のクラスでしたが、個性豊かでほのぼのとした雰囲気が印象に残ります。過ぎてみればあっという間の時間でしたが、皆さんにとってはどのような3年間だったでしょうか。人生の新たな出発点となる当センターとの繋がりは一生のものであります。当センターの卒業生としての誇りを胸に、理療という素晴らしい仕事に従事され、さらに飛躍していかれることを祈念しております。



卒業生からのメッセージ



K. Tさん

この3年を振り返るとあっという間に時間が過ぎた気がします。この3年間でまた勉強をさせていただいたり、いろいろな体験をさせていただいたり、新たな出会いもありました。とても貴重な3年となりました。皆さまどうもお世話になりました。ありがとうございました。

松本 晃さん

私の趣味は相撲観戦。大相撲の世界に「三年先の稽古」という重い言葉がある。若い力士のなかには明日の取り組みに勝ちたいがため、小手先のテクニックばかりを身につけようとする者がいる。しかし、それでは強くなれない。天下の関取になるためには、ゼニを稼ぐには三年先を見据えた稽古が必要なのである。

しこ、てっぽう、すり足、ぶつかり稽古。この単調で地道な繰り返しこそ、関取への道が開かれるのである。学問も同様であろう。小手先の変な覚え方ではすぐに忘れてしまう。語呂合わせはダメ。成長につながらないのである。恥ずかしながら、我が正にそうであった。いつの間にか中身の無い、スッカランの脳になっていた。やはり、何事も理論が大事であった。

どうであろうか。私の話は、久しぶりに心にジーンと響いたんじゃないかな。大いにためになった事であろう。それでは。わっはっは、わっはっは。

匿名

軽い気持ちで入学したセンター。

入ってみると、さぁ大変！

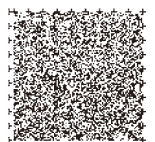
どうしたものかと思い、悩み、気が付けば早卒業、光陰矢の如し！とならない様、日々を大切に過ごしていきましょう。

S. Eさん

コロナ禍での生活が始まって、長いようで短かった3年という月日が流れました。先生方やクラスメイトに支えられ、勉強や実技の習得・向上に励むことができました。皆さんのおかげで楽しいセンター生活を送ることができました。今まで学んだことを生かして頑張ります。3年間有難うございました。

早川 亮太さん

縮小する世界で見たのは色褪せていく沢山の自分
歯車を嫌って逃げて来た愚者が向き合ってた真実
「過去は変えられないが未来は変えられる」
もしも同じ道を辿るのならば信じて欲しい
昨日とは違う明日が来ると言う戯言
泣いても笑っても生きるしかないから
歩みを止めてはいけない、この限られた世界で
この限られた世界で





訓練公開

令和4年度訓練公開が、11月28日(月)13時30分から15時の間で、今年度もZoomを使ってのオンライン形式で開催されました。

主催挨拶、センター概要説明、利用者状況について説明がありました。その後、カメラを持った職員が所内を巡り、訓練風景を解説付きで配信することができました。理療教育の授業風景(1年生の経絡経穴概論・はり実技、2年生の病理学概論・あん摩実技)、自立訓練では、ICT訓練(音声パソコン)、日常生活用具紹介など日常の一工夫で弱視者が見やすい環境作りなどが紹介されました。

利用者の体験発表では、理療教育・自立訓練を現在利用されている2名の方が、センターで訓練を受けることになった経緯や現在の心境、今後の展望について発表していただきました。今年度の申込みは、昨年度を大きく上回る40施設、46名でした。



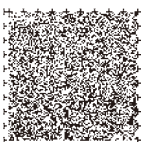
障害者週間記念講演

11月30日、当センターにて「障害者週間記念講演」を実施いたしました。障害者週間は、障害者の福祉についての理解や関心を深めるとともに、障害者が社会、経済、文化その他あらゆる分野の活動に積極的に参加する意欲を高めることを目的として設定されています。当センターでは、就労移行支援として理療教育(あん摩マッサージ指圧師、はり師、きゅう師の養成)や自立訓練として個々人の状況やニーズに応じて家庭生活・地域生活・職業生活が円滑に送れるような支援を行っています。

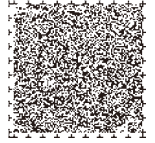
そこで今回は、「あはき師(あん摩マッサージ指圧師、はり師、きゅう師)の社会貢献としての果たすべき役割」というテーマを設定し、熊本県で鍼灸治療院を開業されている青木広光先生をお招きしました。

青木先生は熊本県立盲学校卒業後、筑波大学の関連施設等で鍼灸マッサージの研鑽を積まれました。2005年から地元である熊本県にて鍼灸治療院を開業されています。講演では、開業までの臨床経験や研究成果についてのお話に加えて、地元開業鍼灸師として、求められるあはき師像についてお話いただきました。また、豊富な臨床経験から成功例のみならずご苦労されたお話や失敗したお話まで多岐にわたる内容で大変充実した講演会となりました。

視覚障害をもつ青木先生のお話は、当センター利用者に大きな夢と希望を与えてくださいました。今回の講演が、利用者の積極的な社会参加への意欲向上につながることを職員一同祈念しております。



スポーツ訓練発表会



12月6日(火)にスポーツ訓練発表会(後期)を開催しました。コロナ禍において前期と後期の年2回、実施ができたのは3年振りとなります。当日は、利用者と職員が参加して2競技(ポッチャ；7チーム、フロアバレーボール；4チーム)を実施しました。ポッチャは予選を1位で通過した職

員と3位で通過した1年A組B班との決勝戦となりました。随所に素晴らしい投球を見せた1年A組B班が優勝しました。フロアバレーボールは予選を2位で通過した1年A組が優勝しました。大会中は大きな事故や怪我もなく、とても有意義なひとときを過ごすことができました。



もちつき大会

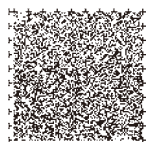
毎年恒例のもちつき大会は今年も12月6日(火)に白熱したスポーツ訓練発表会の後、開催しました。

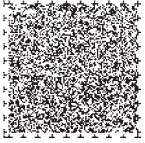
コロナ禍ではありますが、今年度も自治会から「是非3年生の国家試験合格祈願を！」という声を頂き、感染対策をしっかりと行いながら、鏡餅づくりのためのもちつきを行いました。体力に自信のある男性陣を皮切りに、職員がフォローを行いながら、視力や性別に関係なく、多くの方がもちつ

き体験を行うことができました。

例年よりも少し暖かい気候の中、もちから漂う湯気と臭いを感じながら、重い杵を振り下ろし、皆さんの健康と学業成就を願って、力いっぱいもちをつくことができましたと思います。

ついた餅は鏡餅にして、各クラスの教室に飾りました。今年も皆さんにとってよい年になりますように。





利用者募集

1 当センターが提供する施設障害福祉サービス

サービス名	サービス内容	利用開始日	利用申請受付
自立訓練 (機能訓練)	歩行訓練、点字訓練、パソコン訓練、タブレット訓練、日常生活訓練(身辺処理・調理等)、スポーツ訓練、ロービジョン訓練、教養等	随時 (原則として月曜日)	随時
就労移行支援 (養成施設)	あん摩マッサージ指圧師、はり師、きゅう師の国家試験受験資格取得に向けた学習、進路支援等	毎年度 4月上旬	年3回

※通所が困難な方に宿舍・食事・生活支援等を行う「施設入所支援」サービスも提供しています。

2 利用に関する問い合わせ

サービス利用や利用料等の詳細、パンフレット・紹介ビデオ(DVD)等の送付、施設利用のお申込み、見学をご希望の方は、下記までお気軽にお問合せください。

電話：092-807-2844(支援課直通)

092-806-1361(代表)

Eメール：shienka-f@mhlw.go.jp



(ホームページQRコード)

利用者からの一言

2年 影山 未来 (専門課程2年生)

先輩方、ご卒業おめでとうございます！国家試験もお疲れ様でした。充実した3年間だったでしょう。スポーツ訓練発表会では、先輩方ひとりひとりの明るさやチームワークの良さが印象に

残っており、私たち後輩にもとても楽しい思い出を残して下さいました。ここ数年は動きが制限された生活になっておりますが、これからの世の中がどのように変わっても、先輩方が自分らしく活躍できる事を祈っております。

